

新たな雇用・就労支援の“すがた”を考える 「地域仕事づくりフェア」に800名が集う!



オープニング・セレモニー

去る2月17日(火)、大阪府福祉人権推進センター(ヒューマインド)において「地域仕事づくりフェア」を開催し、800名もの参加をいただき盛会のもとに終えることができました。

フェアは12時に開場し、まず来場者にブース・展示企画の見学をいただき、13時よりオープニング・セレモニーとして主催者を代表して大阪府の藤原商工労働部長の挨拶がありました。その後、地域就労支援事業推進協議会委員長で関西学院大学教授の大谷強先生によるフェアのガイダンスがあり、地域で支えるセーフティネットと地域就労支援事業の概要とめざす方向

として、「最近の社会情勢はグローバル化の名の下に競争にシフトした社会になりつつあるが、それだけでは弱肉強食の殺伐とした社会となってしまいます。社会の健全性を担保するならば行政だけではなく、地域における企業やコミュニティビジネス、NPOなど様々な機関・団体が連携するといったこと、言うならば「新たな公」を創造していくことが、社会のセーフティネットとしても求められています。その意味で、このフェアは出会いの場であり、後々に地域で大きな花を咲かせ、立派な実に結びつくような多く

の出会いがあることを願っています。」と、このフェアの意義を説明頂きました。メインのブース展示企画では、府域各地の36のNPO・パワーカースコレクティブ・社会福祉法人等が、ビデオ・パソコン・パネル等をフルに活用しながら、アウトリーチングをはじめ新たな試みや、会員企業との協働への可能性をアピールし、詳しい情報提供や意見交換がなされました。

また、「ビルメンテナンス」「リネンクリーニング」環境「事務サービス」企業の取り組み特例子会社での雇用」の5分野のテーマを掲げ分科会を開催

し、11のNPOなどの地域団体が直接会員企業をはじめとした参加者にプレゼンテーションをする機会を設け、質疑応答意見交換も行いました。

にぎやかな懇親会



木村政雄氏の記念講演



大谷先生のガイダンス



出展ブース



木村政雄氏の記念講演

人間を主役にした人材雇用開発

C-STEP ニュース No.13



発行人/ 松本 隆
発行所/ 社団法人 おおさか人材雇用開発人権センター
〒556-0027 大阪市浪速区木津川2丁目3番8号
[A'ワーク創造館]内
tel.06-6567-6868 fax.06-6567-6886

URL(ホームページ) [http:// www.c-step.or.jp](http://www.c-step.or.jp)

第2期人材スキルアップコースを13名が修了

今年度、人材養成事業の大きな柱として位置づけました「人材スキルアップコース」第2期の講座が2月20日に修了しました。

第2期も第1期と同様にビジネスマナー、パソコン研修、履歴書の書き方などの実務研修と、会員企業による職場実習を組み合わせて、受講者の就労意欲の助長を促す事業となりました。

これで今年度人材スキルアップコースの修了者は、第1期・第2期と合わせて24名になり、そのうち現在、C-STEP会員企業へ就職した方は8名(2004/3/25現在)になりました。他の16名の方も雇用・就労の実現のために日々研鑽されています。

今回は、スキルアップ講座の職場実習において全会員企業へ協力をお願いしてまいりました。2004年度も引き続き全ての会員企業の皆さまにご協力をお願いし、講座の充実をはかつてまいりたいと思っております。よろしくお願いいたします。

第2回 人材スキルアップコース協力企業一覧

職場実習 申込企業

会員名	実習コース	協力内容
株式会社大津コーポレーション	販売コース	商品の整理・値札付け・パッキングケース詰め。
京阪電気鉄道株式会社	庶務コース	グラウンド・テニスコート整備、体育室清掃・用具庫点検等。
光洋精工株式会社	製造コース	製品分解・組み立て・測定作業。
株式会社IMAGICAウェスト	庶務コース	環境整備・美化・清掃等作業。
株式会社雪印アクセス(現・株式会社日本アクセス)	事務コース	事務一般(コピー・伝票整理・帳票ファイル照合業務)。
西日本旅客鉄道株式会社	事務コース	事務補助全般。

職場実習 実施企業

会員名	実習コース	協力内容
関西電力株式会社	事務コース	検針業務、電気設備竣工調査業務。巡視点検業務を実習(同行)。
株式会社クボタ	製造コース	ポンプ、バルブ、建設機械の製造。
株式会社神戸屋	製造コース	仕上がった商品の店別パン箱仕分け作業。
住友製薬株式会社	事務コース	就業給与、福利厚生、メール・資料発送、コピー・ファイル整理等人事部門事務。
住友電気工業株式会社	製造コース	通信ケーブルの製造。
関西国際空港株式会社	事務コース	新聞切り抜き・広報グッズの在庫整理業務。
大和ハウス工業株式会社	事務コース	パソコン・コピー機作業による資料作成、ファイリング・文書作成・伝票作成等。
社会福祉法人大阪市社会福祉協議会	事務コース	資料作成等の事務補助。
JFE継手株式会社	製造コース	製造ライン作業。
日本生命保険相互会社	庶務コース	使走業務、搬送業務、製本・印刷等。
宮崎鉄工株式会社	製造コース	機械組み立て作業。
扶桑薬品工業株式会社	製造コース	医療用薬品の検査、包装業務。
財団法人聖バルナバ病院	事務コース	外来・入院系(受付対応・電話対応)等。



実務講座・企業見学 実施企業

会員名	協力内容
三菱マテリアル株式会社	堺工場見学
サンスター株式会社	本社・工場見学
イオン株式会社	店舗見学
株式会社クボタ	本社見学

企画協力(損害保険加入)企業

会員名	協力内容
ニッセイ同和損害保険株式会社	職場実習に関する賠償責任保険の契約等

地域就労支援事業 2003年12月末までの相談者3,706名

2003年度(平成15年度)の第3四半期(平成15年12月末)までの地域就労支援事業の実績概要について報告します。地域就労支援事業の実施市町村は、36市町68地域就労支援センター(以下「センター」と言う)となっております。前年度の19市町43センターから17市町25センターの増加となっております。

新規相談者数は、昨年度の2,278名から2,682名、前年度トータル比で約18%の増加と既に昨年度の実績を上回っております。過年度相談者数を加えた相談者数は前年度トータルで2,400名が3,706名(平成15年度第1〜第3四半期地域就労支援事業概要から、前年度トータル比で約54%の増加となっております)。

また、各市町で実施される能力開発事業では、和泉市においては、より実践的な技能の修得を目指したフォークリフト講習、八尾市のホームヘルパー1級養成講座、羽曳野市での母子家庭向けパソコン講座など、就職困難者等が企業等の求めるスキルを身に付けるため、25市町で既に実施しており、延べ1,305名の参加者がありました。

雇用・就労創出事業については、求人情報フェアや求人情報検索など20市町で既に実施しており、把握分だけで延べ4,738名の参加者がありました。

このような取り組みにより、センターへの相談者の就労割合も15%強となっております。今後とも、就職困難者等の就労支援については、府、市町村ともその支援に努めてまいります。企業の方々におかれても、地域就労支援事業にご協力賜るようお願いいたします。

大阪市の2003年度 実施の主要就労支援事業

大阪市では、2005年度(平成17年度)までに早急に取り組み施策・事業をまとめた「大阪府雇用施策推進プラン(基本計画)」を策定し、そのプランのなかで、様々な就労支援のための具体的な計画事業を挙げており、2003年度(平成15年度)において取り組んだ主な事業は次のとおりです。

①就職支援セミナー・フォローアップ講座
自己分析を行い、就職に有利な面接の受け方や職務経歴書の作成方法等就職活動を支援するためのセミナーを毎週木曜日にアピオ大阪で開催しました。また、就職支援セミナー受

②職業能力開発講座
雇用保険未加入等により教育訓練給付制度を受けられない求職者に対する職業能力開発講座として、「販売士3級資格取得講座」や「初級システムアドミニストレータ資格取得講座」をアピオ大阪で開催しました。

③若者の仕事さがしじつくり相談会
大阪府・大阪府共催で、高校卒業未就職者をはじめとする若年者を対象にキャリアカウンセラーによる

④若年者の技能職場体験講習事業「職人わざ体験隊」
職業意識の形成を図るため若年者を対象に、実際の職場において、1ヶ月程度の体験講習を行い、体験を通じて仕事に対する具体的なイメージを持たせ、若年者が自分の適性についての正しい認識にたつて職業選択が行えるよう、平成15年10月〜平成16年3月に実施しました。(受講者数は50人)

2003年度 人材開発養成事業(就業体験会)実施状況

対象	人材養成内容	実施企業名	実施日(期間)	参加者数
若年対象	事務職就業体験	大和ハウス工業 株式会社	2004年 3月 22日	4名
若年対象	製造職就業体験	森下仁丹 株式会社	2004年 2月23日	6名
若年対象	アパレルの仕事体験	イトキン 株式会社	2003年 9月 9日	3名
若年対象	ケーススタディによる営業講座	西日本電信電話 株式会社	2003年 8月 6日	7名
若年対象	ビューティーカウンセラー就業体験	カネボウ 株式会社	2004年 2月27日	4名
若年対象	製造保全職就業体験	日本山村硝子 株式会社	2003年12月22日	1名
障害者対象	商品受注業務の体験	キッコーマン 株式会社	2004年 1月20日	2名
障害者対象	清掃・印刷業務の職場実習	株式会社 クボタ	2003年 7月16日~25日	2名
障害者対象	清掃・印刷業務の職場実習	株式会社 クボタ	2004年 1月28日	10名
障害者対象	事務職体験	関西電力 株式会社	2004年 1月16日	1名
中高年対象	寮の管理業務就業体験	住友商事 株式会社	2004年 3月16日	7名
中高年対象	清掃業務就業体験	学校法人 大阪工大摂南大学	2004年 2月25日	7名
中高年対象	清掃業務就業体験	松下ライフ エレクトロニクス 株式会社	2004年 3月 29日	6名
中高年対象	PA監督就業体験	阪神高速道路公団	2003年12月12日	3名
中高年対象	警備職就業体験	松尾電機 株式会社	2004年 2月10日	7名
中高年対象	使送業務就業体験	ニチメン 株式会社	2004年 2月 4日	3名
中高年対象	庶務職就業体験	積水ハウス 株式会社	2003年10月27日	5名
中高年対象	庶務職就業体験	株式会社 日本旅行	2003年12月 2日	6名
中高年対象	清掃業務就業体験	株式会社 日本システムデベロップメント	2003年11月14日	4名
中高年対象	製造保全体験	株式会社 ノエビア	2003年12月18日	3名
人材スキルアップコース修了者対象	駅務業務就業体験	西日本旅客鉄道 株式会社	2004年 1月14日	2名
人材スキルアップコース修了者対象	清掃業務就業体験	大倉建設 株式会社	2004年 3月 4日	2名
販売希望者対象	ロールプレイ研修	株式会社 レナウン	2004年 1月27日~28日	5名
母子家庭対象	一般事務就業体験	株式会社雪印アクセス(現:株式会社日本アクセス)	2004年12月19日	1名

2003年度 就業体験会を 24回開催

2003年度、人材養成事業としての「就業体験会」を24回実施しました。「就業体験会」は、C-STEP会員企業からの求人(雇用)を24回実施しました。「就業体験会」は、C-STEP会員企業からの求人(雇用)を24回実施しました。

事業としての「就業体験会」は、C-STEP会員企業からの求人(雇用)を24回実施しました。「就業体験会」は、C-STEP会員企業からの求人(雇用)を24回実施しました。

情報カードを基に、さまざまな職種の仕事内容、働き方などの一日のルーティンワークを1〜3日程度の体験または見学プログラムとして実施する地域就労支援事業への支援メニューの一つです。

事業への参加者は、延べ101名ありました。内容については、ロールプレイを中心とした講座的な就業体験会や、実際に仕事を行う実践的な就業体験会、また仕事の現場を見せて頂く職場見学など、会員企業の事業協力によりさまざまなプログラムとして実施することが出来ました。

参加者の感想は、「仕事についての内容がよくわかった」「オフィスがあまりにも綺麗なびっくりした」「こういう会社に挑戦したい」などいろいろ感想がありました。

C-STEPは、今後も地域就労支援センターのサポート役として、見てわかり、体験できる「就業体験会」を実施していきまますので、会員企業の皆さまの継続的な協力をお願い申し上げます。なお、事業実施に関わる相談等は、C-STEP事務局までご連絡ください。

26名が会員企業とマッチング

2003年度求人(雇用)情報カードに基づき、人材開発・養成事業を実施した結果、就職に結びつけた支援対象者(CS)の内訳として、第1期、第2期スキルアップコース修了者の就職者が8名、就業体験会の実施による就職者が18名となっております。

No	企業名
1	株式会社損害保険ジャパン
2	株式会社栗本精工
3	株式会社クボタ
4	積水ハウス株式会社
5	イトキン株式会社
6	株式会社クボタ
7	近畿日本鉄道株式会社
8	稲畑産業株式会社
9	日本生命保険相互会社
10	阪神高速道路公団
11	株式会社日本システムデベロップメント
12	株式会社日本旅行
13	大同生命保険株式会社
14	積水ハウス株式会社
15	住友電工株式会社
16	株式会社ノエビア
17	医療法人景岳会南大阪病院
18	関西電力株式会社
19	ニチメン株式会社
20	松尾電機株式会社
21	三菱マテリアル株式会社
22	株式会社クボタ
23	株式会社クボタ
24	全日本空輸株式会社
25	森下仁丹株式会社
26	学校法人大阪工大摂南大学

(注) Noはマッチング実現順番

企業における精神障害者の雇用と雇用後の支援を 考える！「障害者雇用企業研修会」を開催

C-STEPと大阪府との共催で、障害者の雇用問題と「雇用管理におけるこの健康と精神障害」と題して研修会を、3月23日(火)大阪国際交流センターにて開催いたしました。

研修会は、実際に「この病」のある方の就労支援に携わってきた専門医・支援者・事業主の実践事例を通じて、地域での就労支援体制や企業の雇用管理におけるポイントについて、第1期は、シンポジウム「地域で支える〜精神障害者の就労支援事例から〜」を演じた。

当日は、会場が満員となり、企業におけるこの問題の関心の高さが伺えました。高見正章氏、支援者北河内東障害者就業生活支援準備センター金塚たかし氏、当事者Aさんの3名のシンポジストを迎えて精神障害者の就労支援に対する事例と3者の理解と連携の重要性が報告されました。特に、「支援者」は障害者に対する支援と並んで企業への支援も大きな役割としてあることもあらためて報告されるなど、企業の今後の採用と雇用管理に役立つヒントになりました。

地域就労支援 コーディネーター 2名採用

大阪市地域就労支援センターは、2004年4月1日付で相談部門のコーディネーターを新たに2名採用しました。これでコーディネーターは14名体制となりました。

